

オープン市場短信 (2019年3月)

2019.3.5

◆ 2月のCP市場動向

2月末のCP市場残高は、20兆6,830億円（前年同月比+3兆5,486億円）となり、市場残高は高水準を維持している。発行市場は、月中概ね21兆円前後で推移し、事業法人はその旺盛な資金調達ニーズから、過去最高水準の発行残高となっている模様。業態別の発行残高としては、一般事業法人は、8兆7,834億円（前月比+19億円）とほぼ横這いとなった。一方、その他金融は9兆2,439億円（同△3,099億円）、金融機関は1兆5,309億円（同△655億円）、ABC Pは1兆1,248億円（同△871億円）と減少した。発行レートは、投資家やディーラーの根強い購入ニーズから、マイナス~0%近辺の出会いであった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0.000%割れ~0% 一般事業法人（a-1格）0.000%割れ~0.004%割れ その他金融銘柄（a-1格）0.000%割れ~0.028%

【業態別残高内訳】

（単位：億円）

| 業 態 | 2月末残高 | 1月末残高 | 増 減 |
|--------|---------|---------|--------|
| 一般事業法人 | 87,834 | 87,815 | 19 |
| その他金融 | 92,439 | 95,538 | -3,099 |
| 金融機関 | 15,309 | 15,964 | -655 |
| 政府系金融 | 0 | 300 | -300 |
| 銀行等 | 4,630 | 4,660 | -30 |
| 証券 | 10,679 | 11,004 | -325 |
| ABC P | 11,248 | 12,119 | -871 |
| 計 | 206,830 | 211,436 | -4,606 |

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

2月のCPLレートレンジ

| 格 付 | 1カ月 | 2カ月 | 3カ月 |
|--------------|------------------|------------------|------------------|
| a-1+（一般事業法人） | △ ~ 0.0010% | △ ~ —— | △ ~ 0.0000% |
| a-1（一般事業法人） | △ ~ 0.0020% | △ ~ 0.0000% | △ ~ 0.0039% |
| a-1+（リース銘柄） | △ ~ △ | —— ~ —— | △ ~ —— |
| a-1（リース銘柄） | △ ~ 0.0120% | △ ~ 0.0003% | △ ~ 0.0280% |
| a-2 | 0.0019% ~ ケ0.15% | 0.0950% ~ ケ0.15% | 0.0044% ~ ケ0.15% |

«CPオペ»

CP等買入オペは、オファー額が月間で合計6,000億円と、前月比1,500億円減少した。按分落札レートは、高水準の発行残高とオファー額の減少により、各回ともに△0.001%と横這い推移となった。

〈月末オペ残高：2兆3,432億円〉

【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

| 実施日 | 実行日 | オファー金額 | 応札額 | 落札額 | 按分・全取 | 平均落札 | 按分比率 |
|-------|-------|--------|-------|-------|---------|---------|-------|
| 2月5日 | 2月8日 | 2,000 | 7,230 | 1,980 | -0.001% | -0.001% | 40.0% |
| 2月13日 | 2月18日 | 2,000 | 5,960 | 1,970 | -0.001% | -0.001% | 55.6% |
| 2月25日 | 2月28日 | 2,000 | 6,913 | 1,973 | -0.001% | 0.005% | 31.5% |

«ABCP»

ABCPは、四半期末要因の剥落から1兆1,248億円と前月比△871億円減少したが、前年同月比は+942億円増加した。

«短期社債登録状況»

証券保管振替機構によると、2月末時点における発行登録企業数は1社増の522社となった。

変更：[新規登録2社] 大阪市高速電気軌道・武田薬品工業 [登録抹消1社] 伊藤ハム

«CP現先市場»

現先(S/N)レートは運用ニーズ強く、マイナス～0%近辺での出会いで0%では引き続き買い残り状態となっていた。

◆ 3月のCP市場動向

3月のCP発行市場は、決算期末での有利子負債の削減需要から、総じて発行が減少すると思われる。一般事業法人の発行動向は、期越え発行を控えショートターム物中心となろう。月末発行残高は、今年度に入り事業法人が積極的にCPでの資金調達を行っている事もあり、前年(13兆6,009億円)を大きく上回り17兆円前後と思われ、前年同月比では25カ月連続のプラスが見込まれる。

発行レートは、期内物で概ね0%近辺での出会い、発行の少ない期越物ではマイナスレートでの出会いも多くなるだろう。

«CPオペ»

今月のCP等買入オペのオファー額は、前月より4,500億円増額され合計1兆500億円の予定となっている。2月のオペは総額6,000億円のオファーで、按分落札レートは△0.001%と横這い推移となったが、今月はオファー額の増額とオペ対象銘柄の減少といった需給要因から、前月よりレート低下を予想する。

«CP現先市場»

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続きマイナスから0%近辺での出会いであろう。

参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【2月末発行残高 上位10社】

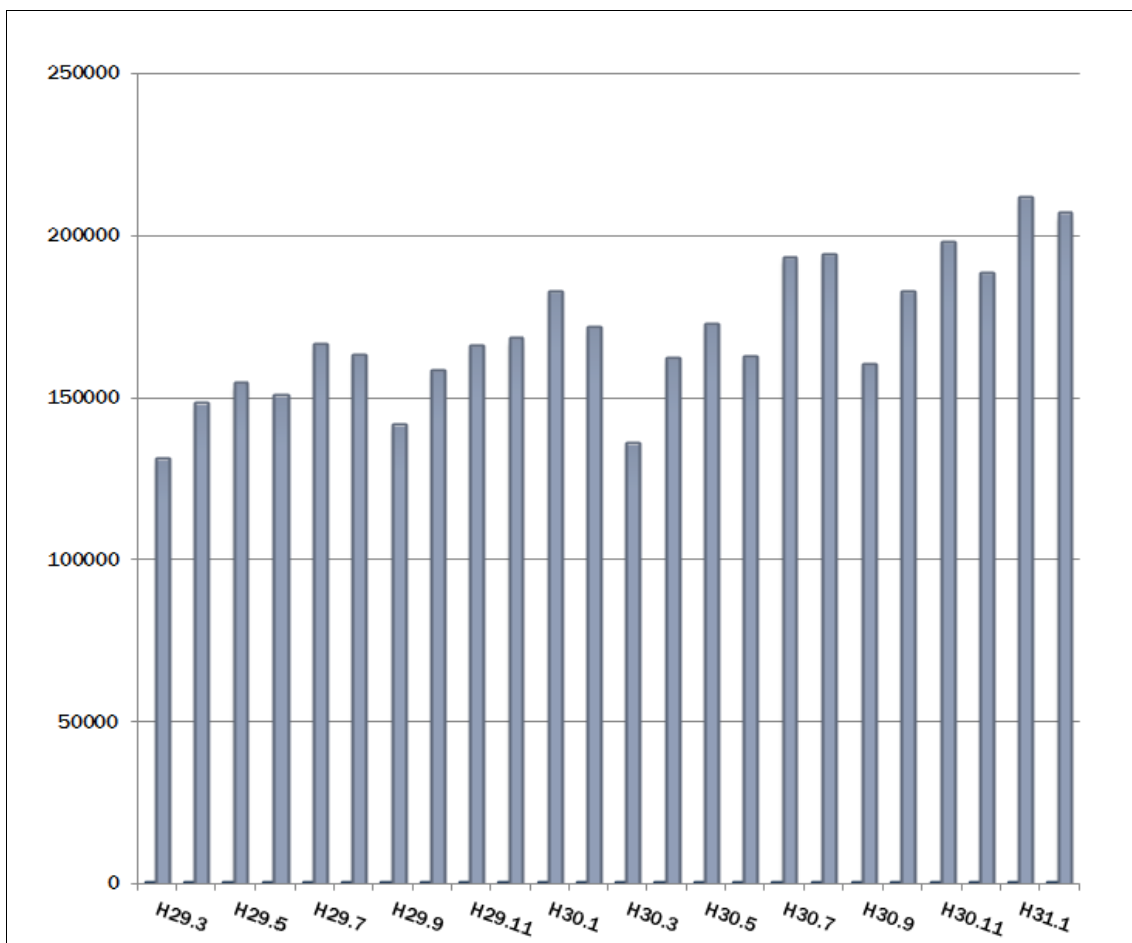
(単位：億円)

| | 発行企業名 | 2月末残高 | 1月末残高 |
|----|-------------------------|--------|--------|
| 1 | 三井住友ファイナンス&リース | 10,469 | 10,969 |
| 2 | 三菱商事 | 8,750 | 8,100 |
| 3 | 三菱UFJリース | 8,045 | 8,310 |
| 4 | 東京センチュリー | 6,499 | 6,498 |
| 5 | クレディセゾン | 5,610 | 5,970 |
| 6 | 興銀リース | 5,500 | 5,500 |
| 7 | 新日鐵住金 | 4,910 | 4,620 |
| 8 | 三菱重工業 | 4,900 | 4,410 |
| 9 | NTTファイナンス | 4,590 | 5,680 |
| 10 | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 4,442 | 4,910 |

【短期社債市場残高】

(H29年3月～H31年2月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会